

消防団による津波対応訓練を実施

銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和4年12月17日（土）銚子市消防団による津波対応訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震による津波の災害に備えるため、活動計画に基づき実践的な訓練を毎年実施しています。情報伝達訓練、避難広報訓練、避難所運営訓練などを実施、避難所運営訓練は、女性と学生で構成されている第11分団により避難所設営の手順などの確認を行いました。地域住民の安全・安心を守るため、今後も計画的に訓練を実施し対応力の向上に努めてまいります。



救急自動車を病院へ譲渡しました

湖南広域消防局

当消防局では、更新後の救急自動車を管内の淡海医療センターに無償譲渡しました。

年々増加する救急需要の抑制に、また、ひっ迫する救急医療体制の一助になればと期待するところであり、今後も管内の病院との連携を深め、地域社会全体で「救える命を救う」ための取組みを進めます。



消防通信

望

楼

ぼうろう

『令和4年度実戦ポンプ操法大会』を実施しました

豊中市消防局

豊中市消防局は2月6日から3日間、第27回実戦ポンプ操法大会を実施しました。今年度は新想定での訓練となり、小隊長の指揮能力向上、ST車直近速消、火災救助、クアドラフォグノズルの機動性を活かした転線、屋内進入、小屋裏防ぎよ、また状況に応じた適切な流量レンジ切替えなど、実災害に即した想定としました。各隊は約2ヶ月間の事前訓練期間を経て、訓練成果をいかに発揮しました。今後も社会情勢の変化に合わせ、求められる技能向上のため訓練に励みます。



文化財防火デーに伴い国宝指定の吉備津神社で消防訓練

岡山市消防局

岡山市消防局では、令和5年1月26日（木）、吉備津神社において、特別消防訓練を実施しました。

この訓練は、神社敷地内の立木が燃え、国宝に指定されている本殿・拝殿に延焼危険があるとの想定で、自衛消防隊の初動対応をはじめ、参拝者の避難誘導、文化財の搬出などを行いました。訓練の最後では、本殿・拝殿を取り囲む4台の放水銃と、消防隊による一斉放水を実施しました。

今後も、神社関係者、地域住民と協力し、先人から受け継いだ歴史と伝統を次世代に守り繋いでいきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】